

※実務経験のある教員による授業科目

## 授業概要

この科目は、保育実習Ⅳ(施設)のための科目である。保育実習Ⅱでの経験を踏まえて、実習のための基礎知識の講義や演習、事例研究等を行う。事前指導では社会福祉機関での実務経験がある教員を中心に、社会福祉施設における実習の目的や内容、実習を行う上での心構えやマナーをはじめ、施設の種別ごとにその概要を指導する。施設の種別は幅が広いので、共通する知識の講義とともに、必要に応じて実習施設の種別ごとにグループに分けて授業を行う。事後指導では実習での学びを振り返り、施設保育士の役割への理解を深め、自身の支援者としての課題を自覚できるように指導する。

## 授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	保育実習Ⅱの課題と反省
第 3 回	児童福祉法・障害者総合支援法と施設 ー実習施設の根拠法の理解ー
第 4 回	児童養護施設・障害者支援施設について ー実習施設の概要の理解ー
第 5 回	施設種別の理解と演習①
第 6 回	施設種別の理解と演習②
第 7 回	事例研究 ー施設保育士として利用者へのかかわり方を具体的に考えるー
第 8 回	実習日誌の書き方①
第 9 回	実習日誌の書き方②
第 10 回	実習日誌の書き方③
第 11 回	実習日誌の書き方④
第 12 回	実習目標と個別支援計画について
第 13 回	実習直前指導
第 14 回	施設実習の反省と評価
第 15 回	施設実習のまとめと今後の課題
第 16 回	総まとめ

## 到達目標

- ・実習施設について経過や成り立ち等を理解する。さらに社会福祉施設の意義、社会における役割を理解する
- ・施設保育士の役割や実習施設の利用者について理解する。
- ・実習日誌を円滑に記入できるようになる。

## 履修上の注意

欠席をしないこと。やむをえず欠席する場合は、必ず連絡をすること。  
連絡がない場合、配布物など受け取れないことがある。課題は必ず提出すること。  
外部講師を招へいして授業を行う場合がある。

## 予習復習

予習として、福祉施設の動向について、日常的に関心を持つこと。  
復習として授業プリントをよく整理すること。付け焼刃では実力はつかない。

## 評価方法

授業態度 10%、課題の提出状況 30%と内容 60% を基準に総合的に判断して評価する。

## テキスト

- ・教科書名：より深く理解できる施設実習 ー施設種別の計画と記録の書き方ー
- ・著者名：藤 京子 (著), 中島 健一朗 (著), 増南 太志 (著), 松本 峰雄 (監修)
- ・出版社名：萌文書林
- ・出版年 (ISBN)：2020年(978-4-89347-221-2)